

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 6 3 号
件 名	新潟市議会議員 10 名の削減を求めることについて
要 旨	<p>新潟市は、篠田前市長の放漫財政から財政は危機的状態となり、その前途は夕張市に酷似する壊滅的な財政運営が予想されています（平成 29 年度夕張市財務諸表）。</p> <p>新潟市は、財政再建策として 2028 年（令和 10 年）までの 10 年間に、41 億 6,500 万円（内訳、事業費 15 億 4,400 万円、人件費 26 億 2,100 万円）の大幅な削減を目指しています。</p> <p>事業費の削減の 15 億 4,400 万円は、市民にダイレクトに血を流させるものであり、産業経済性を否定し、新潟市の百年の大計から考えても、これ以上の削減は困難です。</p> <p>これに反し、人件費 26 億 2,100 万円の削減は容易であり、特に新潟市の職員数は同規模政令市平均より約 440 人も多く、事務の機械化によりますます I T 化が進み、人件費の削減が可能となります。</p> <p>このような時代背景の中で、議員の削減こそ避けて通れない喫緊の課題であり、財政の健全化のためにも、新潟市議会議員の 10 名の削減を図れば、年間 1 億 2,100 万円（議員年間 1 人当たり 1,210 万円（内訳、報酬 786 万円、期末手当 244 万円、政務活動費 180 万円））が削減でき、10 年間で 12 億 1,000 万円も削減できます。</p> <p>ついでには、新潟市の財政を再建し、夢と希望に満ちた新潟市を構築するために、新潟市議会議員 10 名の削減を求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和 2 年 2 月 18 日 総務常任委員会
受 理	令和 2 年 2 月 12 日 第 636 号